

「香料の宝庫」と呼ばれるにふさわしい木

オレンジ



オレンジには、われわれが果実として食べているスイートオレンジと、主に香料に用いられるビターオレンジの二種類があります。ビターオレンジは花、果実、葉、枝などそのあらゆる部位から、それぞれ違った香料が採取される珍しい木です。

オレンジを始めとする柑橘類の原産地はインドのアッサム地方といわれ、中国では紀元前一世紀頃からすでに栽培が始められていました。ヨーロッパに香料の原料となるビターオレンジが伝わったのは、一〇〜十一世紀の頃。その後南仏のグラースで栽培が盛んになりました。現在ではスペイン、モロッコ、チュニジア、フランスなどで栽培されています。

よって二種類の香料が得られます。ひとつは水蒸気蒸留によって得られる高級な香料「ネロリ」。「ネロリ」はイタリアのネローラ公妃がオレンジの香りを愛し、いつもこの香りを漂わせていたためについた名前だとか。微妙な甘さの中に、繊細で、高貴な雰囲気をもも出し出す香りを持ち、高級な香水や化粧水などの香料として使用されています。同じく、ビターオレンジの花からは



香りのアロマ

溶剤によって抽出されるものとして、「オレンジフラワーエッセンス」があります。また、果皮からは压榨法でさっぱりとした苦味を伴ったエッセンスオイルが抽出され、葉や小枝からも香料が得られるなど、ビターオレンジはまさしく「香料の宝庫」と呼ばれるに値する豊かな木といえるでしょう。

●話題

BEAT 時代の鼓動

よみうりテレビの番組「BEAT」は夢に向かって進化し続ける企業や人にスポットを当て、ハイビジョンによる映像でスタイリッシュに描き出すインタビュー番組です。十二月十六日の放送分では、梅栄堂の中田社長が紹介され、「三五〇年の歴史の中で培われた伝統を守りながら、日々新しい香りを求めて、よりよい線香を創り出していきたい。」と熱く語りました。

堺ワザ列伝

テレビ大阪十二月三〇日に放送された一時間番組「黒谷友香の堺ワザ列伝」では、堺市出身の女優黒谷友香さんが堺を訪れ、堺独自の手作り精神

ヒーの香りのお線香「残香飛」。お店の方に焚いてもらい、その香りにほっと一息。その後も懐かしいもの、おいしいもの、楽しいものを求めて地井さんのワンデー・トリップは続けられました。

梅栄堂三五〇周年を迎える

梅栄堂は創立三五〇周年を迎えることができました。これほどに皆様のおかげと感謝いたしております。

記念商品の発売や、商品への記念ラベルの添付のほか、この「梅栄堂通信」でも、創刊以来約二十年間の記事のあらかたを一冊にまとめたものを用意いたしました。ぜひ、ご一読いただければと思います。

を受け継ぎ、また未来に繋げていく「堺ブランド」として認定された「堺技衆」を次々と紹介されました。おなじみの自転車、刃物を始め、伝統を守ってすべてが手作りされる鯉職の「ワザ」や、「究極のメロンパン」作りを目指すパン職人の「ワザ」など、こだわりの職人技が目白押し。そんな中で

「伝統と革新のお線香」作りを目指す企業として、梅栄堂の「ワザ」も紹介されました。

「ちい散歩」と「残香飛」

俳優の地井武男さんがお勧めの散歩コースを紹介するテレビ朝日の番組「ちい散歩」。三月二十六日放送分では江戸川区の「小岩」界隈を散策。街を歩きながら、ふと入ったお線香屋さんで見つけたのがコー

●記念商品、完売御礼

梅栄堂創業三五〇周年を記念して三五〇箱を限定で発売させていたいただきました最高級お線香「伽羅、沈香、白檀」(小売価格五万二千五百円)はおかげさまで発売後まもなく完売。ご好評のうち、販売を終了させていただきました。

歴史に甘えず、よりよいお線香をお届けできますよう、なお一層の努力を心がけてまいりますので今後とも梅栄堂のお線香をどうぞよろしくお願いたします。

